

【教員の教育研究業績等】

氏名	関 維子	所属	幼児教育学科	職位	講師
研究分野	社会学／教育学関連分野	学位	修士(社会福祉学)		
資格・免許	社会福祉士				
担当教科	特別支援教育論、社会的養護Ⅱ、施設実習指導				
教育上の能力及び職務上の実績に関する事項					
事 項				年月日	
1 教育方法の実践例 ・「障害児保育」の授業におけるグループでの教材製作 授業ではグループディスカッションやグループごとの教材製作及び発表の場を設定するなど、アクティブ・ラーニングを取り入れることにより、学生が協働的かつ主体的に取り組めるようにした。				平成21～22年度	
2 作成した教科書、教材 1. 事例を通して学びを深める施設実習ガイド(共著、ミネルヴァ書房) 2. 施設実習Ⅰ・Ⅱ 実習の手引き(共著、田園調布学園大学) 3. 子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習(共著、大学図書出版)				平成30年5月 平成30年4月・平成31年4月 令和2年4月	
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・「学生による授業評価」 田園調布学園大学子ども未来学科における「施設実習指導Ⅰ・Ⅱ」「基礎演習」の授業について「授業への興味関心が高まるように努力していた」「授業の毎回の内容について理解できた」「主体的に学びたい気持ちが強くなった」の項目等において「とてもそう思う」とする学生が半数以上、それ以外は「そう思う」であり、全体的に肯定的な評価だった。 自由記述のコメントでは「説明が聴き取りやすく、とても丁寧」「一人ひとりの話を良く聞いてくれた」といった感想があった。				平成29年度 平成30年度 令和元年度	
4 実務の経験を有する者についての特記事項 埼玉県「発達サポーター養成研修」及び「幼保から小学校へ支援をつなぐ特別支援教育研修」地域連携講座の講師				平成27年度 平成28年度	
5 その他 田園調布学園大学 共同研究 「障害のある子どもを持つ親のワークライフバランス～共生社会実現に向けた具体的検討」(U1085 研究代表者 引馬知子)				平成30年度 平成31(令和元)年度	
研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	
(著書) 1. 出生前診断の法律問題 2. 事例を通して学びを深める施設実習ガイド 3. 子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習		共著 共著 共著	平成20年5月 平成30年5月 令和2年4月	尚学社 ミネルヴァ書房 大学図書出版	
(学術論文) 1. ダウン症の子どもを持つ母親の「障害をめぐる揺らぎ」のプロセス—障害のある子どもを持つ母親の主観的経験に関する研究 2. 障害のある子どもを持つ親の就労に関する文献検討—障害児の親のワーク・ライフ・バランスに関する予備的研究		単著 単著	平成23年3月 平成31年3月	日本女子大学紀要『社会福祉』第51号 田園調布学園大学紀要第13号	

(その他)			
1. 告知をめぐる母子関係の変容と支援-ダウン症児の母親と自閉症児の母親の語りにおける専門家との関係 (ポスター発表)	単独	平成16年7月	日本発達障害学会 (第39回大会 愛媛大学)
2. 障害がある子どもを持つ母親とピア・グループ-障害告知をめぐる母子関係の変容過程と要因 (ポスター発表)	単独	平成16年9月	日本特殊教育学会 (第42回大会 早稲田大学)
3. 自閉症児と母親の関係変容プロセスと要因-障害のある子どもを持つ母親の自己変容に関する研究 (口頭発表)	単独	平成17年10月	日本社会福祉学会 (第53回大会 東北福祉大学)
4. 障害のある子どもを持つ母親の内的変容プロセス-気づきから確定診断まで (口頭発表)	単独	平成21年6月	日本女子大学社会福祉学会 (第16回大会 日本女子大学)
5. 障害のある子どもを持つ母親の内的変容プロセス-「ずれ」をめぐるストーリー (ポスター発表)	単独	平成21年8月	日本発達障害学会 (第44回大会 岩手大学)
6. 障害のある子どもを持つ母親の主観的経験-「ずれ」をめぐるストーリー (口頭発表)	単独	平成21年10月	日本社会福祉学会 (第57回大会 法政大学)